

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2003年11月25日～ 2004年1月22日分)

### 米 Macrovision、音楽 CD 向け著作権保護技術「CDS-300」をリリース

米 Macrovision は、音楽 CD 向けにマルチレベルでの著作権保護と著作権管理を実現する技術「CDS-300」をリリースしたと発表した。

「CDS-300」は、Microsoft の Windows Media DRM が統合されており、セカンドセッションに収録された圧縮オーディオファイルをポータブルプレーヤーに転送したり、CD-R に焼くことができる。

ポータブルプレーヤーへの転送回数や CD-R への焼き込み回数は、その可否も含めて著作権保有者が自由に設定できる。

圧縮オーディオファイルは HDD にコピーすることはできるが、メールで送ったりインターネットを介して配布したりしたファイルは再生できない。

また、転送できるポータブルプレーヤーは認証されたものでなくてはならない。

なお、ファーストセッションに納められた通常のオーディオファイルは、高い互換性を保っており、一般のオーディオ機器で再生できるとしている。

(1/22)

### ルネサス、SH-Mobile に Windows Media と Real を搭載

ルネサス テクノロジは、次世代携帯電話システム向けのアプリケーションプロセッサ「SH-Mobile」シリーズに、新たに Microsoft のデジタル音声・動画圧縮技術「Windows Media Audio/ Video 9 シリーズ」及び RealNetworks のデジタル音声・動画圧縮技術「RealAudio 10/RealVideoR10」を搭載すると発表した。

2004年3月には製品化第一弾として「Windows Media Audio 9」技術に基づく、

SH-Mobile 用のミドルウェア製品を販売予定。

この製品は、「Windows Media Audio 9」に対応したソフトウェアデコーダを搭載し、SH-Mobile 用に処理を最適化(128kbps/44.1kHz/ステレオデータの場合、CPU 負荷は40MHz)されており、C 言語インターフェースの提供により、システム、アプリケーション構築が容易となっている。

また、「Windows Media Audio 9」に引き続き、「Windows Media Video 9」、「RealAudio 10/RealVideo 10」技術についても順次サポートを進めていく予定としている。

(1/22)

### クリエイティブ、「NOMAD MuVo2」に 4GB モデルを追加

クリエイティブメディアは、1 インチ HDD 搭載のオーディオプレーヤー「NOMAD MuVo2 (ノマド ミュボ スクウェア)」に 4GB モデル (CNMVS4G) を追加し、2004年1月下旬より発売すると発表した。

Creative NOMAD MuVo2 4GB は最新の 1 インチ・4GB のハードディスクを内蔵、MP3 (MPEG Audio Layer-3) WMA (Windows Media Audio) 及び WAV 形式の再生に対応する。

ポータブルプレーヤーでは最高クラスの 98dB の SN 比を実現し、ネオジウムマグネット搭載イヤホンが付属する。

インターフェースには USB 1.1 の最大 40 倍の転送速度を持つ USB 2.0 を採用、USB マストレージクラスに対応し、音楽もデータも Windows エクスプローラ上で簡単ドラッグ&ドロップ転送が可能となっている。

EL バックライト付き液晶ディスプレイを搭載し、ファイル名、ID3 タグの日本語表示が可能。バッテリーは着脱可能で、AC アダプタからだけでなく、USB インターフェースからの充電もできるようになっている。

外形寸法は約 67×20×66.5mm (幅×奥行き×高さ) 重量は 101g (バッテリー搭載時)。

なお、ウェブ限定販売のブラックカラーモデルも限定数発売する。価格はいずれもオープン。

(1/19)

### 松下、130 時間の連続再生が可能なポータブル MD レコーダーを発表

松下電器産業は、録再ポータブル MD レコーダーで世界最長の連続再生時間を実現したポータブル MD レコーダー「SJ-MR240」と Net MD に対応した「SJ-MR270」を 2004年2月25日より発売すると発表した。

どちらのモデルも、付属のニッケル水素充電電池と別売の単 3 アルカリ乾電池 1 本を併用することで、約 130 時間の連続再生が可能となっており、録再モデル、Net MD 対応録再モデルとして世界最長としている。

本体とリモコンに、漢字やカナ表示にも対応した液晶ディスプレイを搭載、本体のディスプレイは漢字の 2 桁表示にも対応する。音質面では、高音質音声圧縮技術「H.D.E.S.」(標準モード時のみ動作)や 24bit ATRAC DSP を搭載している。

「SJ-MR270」は Net MD に対応し、同梱の「マルチクレードル」と PC を接続することで、PC 内の OpenMG 形式のファイル (ATRAC3) を高速転送できる。転送用にジャストシステム製ジュークボックス「BeatJam」が付属する。

マルチクレードルには小型のアクティブステレオスピーカーが付属し、USB スピーカーとしても利用できる。

本体の外形寸法は共通で、79.6×19.4×74.8mm (幅×奥行き×高さ)。重量は「SJ-MR240」が約 85g (充電電池含む)、「SJ-MR270」が約 86g (同)。

カラーは、「SJ-MR240」がシルバー(-S)、ブルー(-A)、レッド(-R)の 3 色、「SJ-MR270」がシルバー(-S)、ブラック(-K)の 2 色。価格はいずれもオープン。

(1/14)

## アイワ、着脱式 USB ストレージ採用オーディオプレーヤーを発表

ソニーは、アイワブランドで、USB ストレージメディア "pavit" (パビ)『AZ-RM128P』『AZ-RM256P』と、"pavit"に MP3 フォーマットで保存した音楽が楽しめるポータブル USB メモリープレーヤー『AZ-ES256』『AZ-RS256』『AZ-FS256』『AZ-HS256』『AZ-BS32』を発表すると発表した。

pavit は、パソコンに直接接続して利用できる USB 2.0 の高速転送に対応した USB ストレージ。容量 128MB の『AZ-RM128P』と 256MB の『AZ-RM256P』があり、価格はともにオープンプライス。

『AZ-ES256』は、首掛け型の pavit 対応オーディオプレーヤー。

高音質、重低音を実現する "MP3 Digital Sound Enhancer" を搭載。首掛け用のネックストラップやヘッドフォンが付属する。電源は単 4 電池で、電池駆動時間は約 11 時間。

256MB 容量の "pavit" が付属し、カラーはシルバー/レッド/ブルー/グリーンの 4 色。発売は 2004 年 2 月 1 日予定。

『AZ-RS256』は、スポーツ時の利用を想定した pavit 対応オーディオプレーヤー。

FM チューナを内蔵し、本体にかな漢字表示に対応したバックライト付きの液晶ディスプレイを搭載。高音質、重低音を実現する "MP3 Digital Sound Enhancer" も搭載する。電源は単 4 電池で、電池駆動時間は約 11 時間。

腕に装着できるアームバンド、256MB 容量の "pavit" が付属。発売は 2004 年 3 月予定。

『AZ-FS256』『AZ-HS256』は、ヘッドホンスタイルの pavit 対応オーディオプレーヤー。

高音質、重低音を実現する "MP3 Digital Sound Enhancer" を搭載し、256MB 容量の "pavit" が付属する。電源は単 4 電池で、電池駆動時間は約 11 時間。

FM チューナ/液晶ディスプレイ付きの

『AZ-FS256』は 2004 年 4 月発売予定。FM チューナ/ディスプレイが省かれた『AZ-HS256』は 2004 年 3 月発売予定。

『AZ-BS32』は、防沫設計によりお風呂で利用可能な pavit 対応オーディオプレーヤー。

バックライト付き液晶ディスプレイを搭載。ハンドル付きで、壁掛けやスタンド置きにも対応する。FM デジタルチューナー、時間が来たアラーム音で知らせるカウントダウンタイマー機能を搭載する。高音質、重低音を実現する "MP3 Digital Sound Enhancer" も搭載。電源は単 3 電池 2 本で、電池駆動時間は約 11 時間。

32MB 容量の "pavit" が付属する。2004 年 4 月発売予定。

いずれのモデルもオーディオフォーマットは MP3 に対応。音楽の転送は専用のアプリケーション「Music Transfer」で転送する必要があり、転送した音楽ファイルは暗号化が施され、パソコンへの書き戻しは行えない。対応 OS は Windows Me/2000/XP。

価格はいずれもオープンプライス。

(1/14)

## アイワ、世界最小/最軽量の 2GB HDD プレーヤーを発表

ソニーは、アイワブランドで、名刺サイズで厚さ約 10.6mm、質量約 68g のポータブルハードディスクプレーヤー "Giga pavit" (ギガパビ)『HZ-WS2000』を発表すると発表した。

『HZ-WS2000』は、容量 2GB の 1 インチ HDD を採用。対応コーデックは MP3(VBR 対応)のみ。

インターフェースは USB 2.0。パソコンからは USB ストレージとして認識され、通常のデータストレージとしても利用できる。

音楽の転送は専用のアプリケーション「Music Transfer」で転送する必要があり、転送した音楽ファイルは暗号化が施され、パソコンへの書き戻しは行えない。対応 OS

は Windows Me/2000/XP。

かな漢字表示対応のジョグダイヤル付き液晶リモコンが付属し。電源は内蔵のリチウムイオンで、連続駆動時間は約 8 時間、充電時間は約 3 時間となっている。

ボディカラーはシルバー/レッド/ブルー/ブラックの 4 色。

同時に振動に強い『HZ-DS2000』も発表された。本体周囲をラバーで覆ったデザインに、防滴処理を施している。

本体にバックライト付きのかな漢字対応液晶ディスプレイを搭載、リモコンは付属しない。また、内蔵メモリーに約 4 曲分の音楽を記録し、ジョギングの間は内蔵メモリーに記録された音楽を繰り返し再生する「ミュージックチャージャー」機能を搭載している。

そのほかの主な仕様は『HZ-WS2000』と共通。外形寸法は 94.5×18.4×60mm(幅×奥行き×高さ)、重量は 109g。

いずれのモデルも発売は 2004 年 4 月予定。価格はオープンプライス。

(1/14)

## 12 月末で DSL 加入者数は 1,000 万突破

総務省から 2003 年 12 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 10,272,052 で、これは前月末の 3.6%増。増加率は前月から 0.3%のプラス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 3,774,123。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 6,497,929。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 36.7%と前月から 0.1%のマイナス。

(1/14)

## 米 Gracenote、組み込み型自動プレイリスト作成技術を発表

米 Gracenote は、Samsung が同社の Gracenote Playlist を採用し、ポータブルデバイスとしては業界ではじめて自動ワタ

ッチ"プレイリスト生成機能を実現したと発表しました。

Samsung の Yepp YH-1030 は、Gracenote CDDB 音楽データベースと Gracenote MusicID の波形に基づく楽曲識別を利用した音楽認識を中心とするソリューションスイート「Gracenote Music Management System」を採用している。

このソリューションスイートには、認識されたファイルを自動的に分類/タグ付けし、ユーザーのデジタルファイルのコレクションを高度に管理されたデジタル音楽ライブラリに変える Gracenote Clean、ボタンひとつでダイナミックにプレイリストを自動作成できる Gracenote Playlist、および関連音楽コンテンツを追加できる Gracenote Link が含まれている。

プレイリストの作成は、自動生成だけでなく、デバイスに付属のソフトウェアとインターネットを利用することにより、Gracenote のデータ/音楽スタイルのマップをベースに、曲調や人気ランキングに基づいて行うことも可能となっている。

(1/10)

## 米 Microsoft、「Windows Portable Media Center」を発表

米 Microsoft は、ラスベガスで行なわれているデジタル機器の展示会 International CES (International Consumer Electronics Show) において、携帯可能な小型メディアプレーヤー「Windows Portable Media Center」を発表した。

Windows Portable Media Center は、4 型程度のディスプレイと HDD を内蔵し、USB 2.0 により PC と接続して動画や音楽のファイルを取り込み、再生できる携帯型のメディアプレーヤー。

OS には Windows Mobile (Windows CE.NET) を利用し、再生可能なフォーマットは動画が WMV7/8/9、音楽が WMA と MP3、静止画が JPEG と TIFF となっている。

Windows Portable Media Center は、「Windows XP MediaCenter Edition」を拡

張するものとして位置付けられており、こうしたパソコンに接続する周辺機器のための技術も「Windows Media Center Extender」として発表された。

Windows Portable Media Center 製品は 2004 年後半頃に発売の見通しで、Creative Labs、iRiver International、三洋電機、Samsung Electronics、ViewSonic などが開発の意向を表明している。

(1/10)

## 有線ブロード、取り付け数が 12 万件に迫る

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2003 年 12 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が 197,796 件、回線が開通している取り付け数が 119,848 件となった。

前月 2003 年 11 月末時点のもの比べると、契約者数で約 11,000 件、取り付け数で約 8,000 件となる増加となっている。

なお、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.22、集合住宅取付棟数は 26,368 となっている。

(1/10)

## 松下、電灯線で 190Mbps を実現するホームネットワーク技術を開発

松下電器産業は、建物内の電灯線を使って 190Mbps のデータ通信が行なえるホームネットワーク技術「HD-PLC (High Definition ready high speed Power Line Communication)」を開発したと発表した。

HD-PLC では、部屋のコンセントにカセットテープサイズのモデムアダプタを取り付けることで、既存の電灯線を高速ネットワーク回線として利用できる。

このアダプタは、広帯域データ信号を電源線に変換する LSI チップセットと、LAN

コネクタ、電源差込口から構成され、ADSL や光ファイバといった広帯域接続を、家庭の既設の電源線まで引き込むことができる。

同技術は、電源線利用の家庭内ネットワークの標準化を進める業界団体「HomePlug Powerline Alliance (HPA)」の次世代仕様「HomePlug AV」にも採用される予定としている。

松下では、HPA が 2004 年の夏までに仕様の策定を完了すれば、消費者と企業向けの PLC アダプタを 2004 年末までに提供できるとみている。商用 LSI チップセットも同じころにリリースされる。

(1/9)

## サンディスク、2GB のメモリースティック PRO を発表

米サンディスクコーポレーションは、容量 2GB のメモリースティック PRO と、自社製造によるメモリースティック PRO Duo を発表した。

今回発表されたメモリースティック PRO は、容量が 2GB のタイプで、近日中にも出荷される予定。従来の最大容量である 1GB を超える初のメモリースティック PRO メディアとなる。

外觀はブルーを基調とした、トランスルーセント素材を採用したもの。

米国での販売価格は、1,000 ドル。国内での販売価格はオープンブライズとなる見込み。

また、初の自社製造による、容量 256/512MB のメモリースティック PRO Duo も 2004 年第 1 四半期より出荷を開始する予定。

米国での価格は、256MB 容量が 104.99 ドル、512MB 容量が 224.99 ドル。国内価格はオープンブライズ。

(1/9)

## Apple と HP が音楽配信サービス分野で戦略的提携

米 Apple と米 Hewlett-Packard (HP) は、音楽配信サービスとデジタルオーディオプレーヤーに関する戦略的提携を結んだと発表した。

デジタルオーディオプレーヤーに関しては、HP が、Apple のオーディオプレーヤー「iPod」をベースにした HP ブランドの製品を 2004 年夏に発売する。

また、HP のコンシューマ向けパソコンに Apple のオーディオジョックボックスソフト「iTunes」をバンドルし、音楽配信サービス「iTunes Music Store」へのショートカットをデスクトップ上に配置することで、HP のユーザーに有料音楽配信サービスを提供する。

HP の調査によると、HP ユーザーの 54% がパソコンへの音楽ダウンロードを行っているという。

(1/9)

## 米 Sony、有料音楽配信サービスを春に開始

ソニーの米国法人である Sony Corporation of America (SCA) は、有料音楽配信サービス「Connect」を米国内で 2004 年春にも開始すると発表した。

Connect で採用されるファイル形式は ATRAC3、DRM は OpenMG を利用する。

対象は米国内ユーザーに限定されており、価格は 1 曲 99 セント、主なアルバムは 9 ドル 95 セント。

楽曲数はスタート時にメジャー音楽レーベルとインディーズ系レーベルからの約 50 万曲を用意、他の音楽ダウンロード販売サービスでは提供されない特別なコンテンツを Connect でのみ販売するとしている。

Connect で購入した音楽は NetMD Walkman、Hi-MD Walkman、ATRAC CD Walkman、Network Walkman で再生できるようになる予定。

なお、同サービスの開発と管理、運営は、SCA が新しく設立した子会社 Sony Connect が行なう。

(1/9)

## Cornice、2GB 容量 1 インチ HDD を発表

米 Cornice は、1 インチの小型 HDD「2GB Cornice Storage Element(Cornice SE)」の出荷を開始したと発表した。

「Cornice SE」は 1 インチの小型 HDD。1.5GB モデルを 2003 年 6 月から出荷している。

外形寸法は 42.8×36.4×5mm(幅×奥行き×高さ)、重量は 14.5g。

転送速度は従来の 4MB/sec から、4.5MB/sec に高速化されている。

既に量産出荷が可能としており、価格は年に 10 万個のロットで 1 個当たり \$70。

(1/9)

## 東芝、0.85 インチ HDD を発表

東芝は、モバイル機器に搭載可能で、音楽や映像などの大容量コンテンツを保存することができる小型のハードディスクドライブ(HDD)として、0.85 型(ディスク径: 約 2.2cm) HDD を開発したと発表した。

0.85 型 HDD の大きさは、従来の 1.8 型 HDD の 1/4 程度。記憶容量は 2~4GB を想定している。

今後の技術開発により、将来はさらなる大容量化も可能としており、量産拠点については青梅デジタルメディア工場を予定している。

2004 年夏からサンプル出荷を開始し、秋から月産 20~30 万台の規模で量産を行なう予定としている。

(1/9)

## ソニー、「Hi-MD」対応 MD ウォークマンとサウンドゲートを発表

ソニーは、「Hi-MD」規格対応商品の第一弾として、Hi-MD ウォークマン 3 機種と、Hi-MD デスクトップオーディオ「サウンドゲート」『LAM-X1』を発売すると発表した。「Hi-MD」規格の「記録用 Hi-MD ディスク(記録容量 1GB)」『HMD1G』も同時に発売する。

Hi-MD ウォークマン『MZ-NH1』は、録音・再生機として充実した機能を持つ「Hi-MD」規格対応ウォークマンの最上位機種。同時発売の「記録用 Hi-MD ディスク」『HMD1G』を使って最長約 45 時間の録音や、音声圧縮のないリニア PCM 方式での高音質録音・再生に対応。また、本体録音した楽曲を PC にアップロードすることもできる。

その上、FAT (File Allocation Table) システムに対応しているため、USB で PC と接続することで、外部ストレージ機器にもなり、音楽データだけでなく、PC 上のデータも簡単に記録できる汎用記録メディアとして利用することができる。

『MZ-NH3D』は、PC からの USB 記録と再生機能に特化。『MZ-NH1』と同様に、「SonicStage Ver.2.0」を使い、PC で編集・管理した音楽データを高速転送することができるほか、PC と USB で接続することで、PC の外部ストレージ機器としても活用できる。

『MZ-EH1』は、「Hi-MD」規格に対応した再生専用モデル。「Hi-MD」ならではの長時間収録された音楽を楽しむことができるほか、リニア PCM 方式で録音された高音質の音楽も再生可能。

「サウンドゲート」『LAM-X1』は、縦型 CD/MD スロットを搭載したコンパクトな「Hi-MD」対応デスクトップオーディオ。「Hi-MD」規格対応により、「記録用 Hi-MD ディスク」『HMD1G』に最長約 45 時間分の長時間録音が可能となったほか、リニア PCM、ATRAC3plus といった高音質録音モードにも対応した。

また、PC と USB で接続することで、PC に取り込んだ音楽の高速転送や、PC 上で再生した音楽を『LAM-X1』の高音質スピーカーで楽しむことが可能となっている。

全モデルに「微細な音を忠実に再現する」というHDデジタルアンプを搭載するほか、ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sを採用するなど高音質化を図った。リモコンも3モデル共通で、バックライト付きカナ漢字表示対応3行ジョグダイヤルリモコンを採用する。

いずれも2004年6月発売予定。価格はオープン。

(1/8)

## ソニー、1GB記録が可能なMD新規格「Hi-MD」発表

総ソニーは、現行のMD(ミニディスク)との再生互換性を確保し、著作権保護技術を採用した「Hi-MD(ハイエムディー)」規格を策定したと発表した。

「Hi-MD」規格は、現行のMDディスクを「Hi-MD」に初期化することで、データ変調方式を従来のEFMから1-7RLLに、データ検出方式をBit by BitからPRMLに変更することで、記録方式を効率化し、約2倍の高密度化を実現。

さらに、業界で初めて、DWDD(Domain Wall Displacement Detection、磁壁移動検出方式)技術を採用することで、音楽の場合、最大約45時間分のコンテンツを記録することが可能な「Hi-MD」規格専用の1GB記録用「Hi-MD」ディスクも開発した。

また、「Hi-MD」規格に対応した機器は、現行のMDとの再生互換性を維持しており、今のMDをそのまま再生することができる。

音楽記録の技術としては、ATRAC3plusを新たに追加。ビットレートは48kbps、64kbps(Hi-LPモード)、256kbps(Hi-SPモード)に対応する。

さらに、市販の音楽CDと同じクオリティを誇るリニアPCM録音も可能となっている。

「Hi-MD」規格は、ファイルシステムにFAT(File Allocation Table)システムを採用。「Hi-MD」規格に初期化したMDディスクや1GBの記録用「Hi-MD」ディスクを、テキストファイルや画像などのPC上のデータファイルを記録できる汎用記録メディアとして利

用できる。

コンテンツの著作権を保護する技術として、メモリスティックやNet MDで実績のある著作権保護技術、OpenMGとMagicGateを採用。ディスク上の音楽コンテンツには暗号化を施すとともに、SCMS(Serial Copy Management System)にも対応する。

Hi-MD対応機器やHi-MDディスクは2004年6月発売予定として同時に発表されている。

(1/8)

## 米RealNetworks、1曲99セントの有料音楽配信サービス開始

米RealNetworksは、有料音楽配信サービス「RealPlayer Music Store」を開始した。メディアプレーヤーの最新版「RealPlayer 10」から利用できる。

RealPlayer Music Storeで採用されているファイル形式はAAC(ビットレート192kbps)。DRMはReal独自となっており、iTunes Music Storeとは互換性がない。

対象は米国内ユーザーに限定されており、価格は1曲99セント、主なアルバムは9ドル99セント。楽曲数は1月中に40万曲を用意するとしており、2004年1月17日まで、最初の1曲10セントでダウンロードできるキャンペーンを実施している。

また、RealPlayer Music Storeで購入した楽曲は、Creative LabsのHDDオーディオプレーヤー「NOMAD Jukebox Zen Xtra」や、palmOne製PDA「Tungsten」シリーズなどへ転送することも可能としている。

(1/8)

## 米RealNetworks、「RealPlayer 10」を発表

米RealNetworksは、メディアプレーヤーの最新版「RealPlayer 10」を発表した。Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98SE用が公開されており、同社Webサイトより無料ダウンロードできる。

RealPlayer 10では、Real、Windows Media、QuickTime、MP3、AACなどの主要フォーマットをサポートしているだけでなく、オンラインミュージックストアで使われているフォーマットもサポート。

iTunes Music Storeなどから購入した楽曲をひとつのメディアプレーヤーで再生できるとしている。

また、iPodをはじめとするCreative Labs、Nokia、SonicBlue/Rio、Sony、Panasonic、PalmOneなど50以上の携帯デバイスへのエクスポートも可能になっており、CDへの書き込みはRealOne Playerよりも30%高速になっているとしている。

CDリッピングにおけるAACコーデック、ホームシアター向けのRealAudio Multichannelなどにも対応した。

なお、有料音楽配信サービス「RealPlayer Music Store」が統合されている。

(1/8)

## グリーンハウス、1GBのSDカード発表

グリーンハウスは、シリーズ最上位機種に1GBを含むSDカードの新シリーズ「GH-SDC\*\*MDシリーズ」を2004年1月下旬より発売すると発表した。価格はオープンブライズ。

ラインナップは1GBから以下、512/256/128/64/32MBとなっている。

各製品の仕様は共通で、SD Memory Card Specification Ver1.0およびSDMI規格に準拠する。転送速度5MB/s。

(1/7)

## アップル、「iPod」に15GBモデルを追加

アップルコンピュータは、HDDオーディオプレーヤー「iPod」の第三世代に15GBモデル「M9460LL/A」を追加し、2004年1月7日より発売した。価格は31,800円。

これに伴い、10GB モデルがなくなり、販売中の 20GB モデル/40GB モデルは 5,000 円/7,000 円値下げされ、20GB モデルが 42,800 円、40GB モデルが 52,800 円に価格改定された。

また、「iPod」の販売実績が全世界の累計で 200 万台を突破したことも併せて発表された。

(1/7)

## 米 Apple、4GB HDD 搭載の「iPod mini」を発表

米 Apple Computer は、HDD オーディオプレーヤー「iPod」シリーズに小型・低価格モデル「iPod mini」を発表した。

iPod mini は、4GB の HDD を搭載、筐体には軽量で携帯性に優れた耐食性のある陽極酸化処理済みアルミニウムボディを採用し、シルバー、ゴールド、ピンク、ブルー、グリーンのスタイリッシュな 5 色で展開される。

外形寸法は約 50.8×12.7×91.4mm (幅×厚み×高さ) 重量は 102g となっている。

操作系ではタッチ式の Click Wheel (クリックホイール) (特許出願中) を搭載、ユーザーインターフェイスは iPod と同じものを採用している。

PC とのインターフェイスは IEEE1394 と USB2.0。対応 OS は、Mac OS X 10.1.5 以降または、Windows 2000/XP。iTunes Music Store や、ジュークボックス・ソフトウェアの iTunes に完全対応している。

iPod mini パワーアダプタ、FireWire ケーブル (1.2m)、USB 2.0 ケーブル (1.2m)、iTunes 4.2 (Macintosh/Windows 用)、ベルトクリップを同梱する。

米国のみで 2004 年 2 月より販売を開始、希望小売価格は 249 ドル。2004 年 4 月には全世界で販売される予定としている。

(1/7)

## オンキヨー、Net-Tune 対応ネットワーク AV プレーヤーを発表

オンキヨーは、パソコンに蓄積された映像や音楽、写真画像を、リビングなどの TV 画面で楽しむことができるネットワーク AV プレーヤー「NC-501V」を 2004 年 2 月下旬に発売すると発表した。

「NC-501V」は、パソコンと Ethernet 接続し、パソコン上に蓄積したビデオやオーディオ、静止画データをテレビやオーディオ機器に出力できる。対応するビデオ形式は、MPEG-1/MPEG-2 と XviD、オーディオ形式は WAVE/WMA/MP3/AC3、静止画は JPEG をサポートする。

Ethernet のネットワーク上で映像やデジタル音楽データを効率よく転送/制御し、従来の AV 機器と同様の操作性を実現するオンキヨー独自開発の通信プロトコル「Net-Tune System Protocol」を採用、ストレスを感じることなくパソコン内の映像や音楽を快適に楽しむことができる。

パソコン用の管理ソフト「Net-Tune Central ver.3.0」では、ビデオ/オーディオ/静止画の管理/編集に対応。同じネットワーク内の複数のパソコンにあるコンテンツをシームレスで管理できるマルチサーバー機能や、複数の NC-501V への接続可能なマルチクライアント機能も備えている。

インターネットラジオにも対応し、ブロードバンド環境があればパソコンが起動してなくても、約 400 ステーションもある世界中のインターネットラジオ局をリモコン一つで聴くことができる。

音楽や映画の音声データの再生における、D/A 変換時に発生するノイズを全く排除した独自回路 VLSC の搭載により SN 比 100dB を実現。また、D4 端子を装備しておりハイビジョンテレビの高解像度の画面にも対応する。

(1/6)

## 富士通、世界初のシリアル ATA 対応 2.5 インチ HDD

富士通は、モバイル PC 市場向けに、2.5

型磁気ディスク装置として世界初となる、シリアル ATA インターフェイスに対応した高性能 2.5 型磁気ディスク装置「MHT20xxBH」を開発したと発表した。

シリアル ATA インターフェイスは、2.5 型磁気ディスク装置で現在採用されているパラレル ATA インターフェイスと比べ、データ転送速度の向上が可能。

「MHT20xxBH」では、シリアル ATA II フェーズ I 仕様に対応した SoC (System On a Chip) を搭載、従来製品「MHT20xxAH」の 1.5 倍となる毎秒 150MB の高速データ転送を実現している。

回転速度は毎分 5,400 回転。世界最高水準である 1 平方 cm あたり 10.7Gbit (1 平方 inch あたり 69Gbit) の記録密度で、40GB、60GB、80GB のラインアップを揃える。

出荷は 2004 年 4 月より開始予定。初年度に 200 万台の出荷を見込んでいる。

(1/5)

## 総務省、11 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2003 年 11 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 242.8 万人、DSL が 9,911,306 人、FTTH が 815,402 人。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は 1,926 万人。

(12/26)

## MIS、無線 LAN の実証実験を 12 月 31 日で終了

モバイルインターネットサービス (MIS) は、同社の公衆無線 LAN サービス「Genuine」のサービス休止期間中に実施していた実証実験を 12 月 31 日で終了すると発表した。

Genuine は、IEEE 802.11b に準拠した商用の無線 LAN サービスとして 2002 年 4 月

りサービスを開始、同年 12 月下旬にはサービスを休止していた。

サービス休止期間中には、新たな技術的実証を目的の一部エリアにおいて、実証実験を継続していたが、2003 年 12 月 31 日のサービス休止期間の終了をもって、実証実験を終了する。

(12/24)

## 音楽ファイル交換サービスの著作権侵害で判決

東京地方裁判所は、インターネットを利用して音楽ファイルを無料で交換させるサービス「ファイルログ」の運営者である日本 MMO に対して音楽ファイルの送信差止めを命じた上、同社及びその代表者松田道人氏に対して著作権侵害による損害賠償金の支払を命ずる判決を下した。

この裁判は、JASRAC と日本レコード協会 (RIAJ) レコード会社 19 社が 2002 年 2 月、ファイルログを運営する日本 MMO に対しサービスの差止めと約 3 億 6500 万円の損害賠償を求めたもの。

判決では日本 MMO 側に総額約 6,689 万円の支払いを命じ、レコード会社らが著作権を持つ楽曲の MP3 ファイルの送受信を禁じた。

損害賠償金については、JASRAC が文化庁長官に届出た使用料規定の合理性を認めた上で、当時のインターネットをめぐる技術的環境を前提として、現実にダウンロードすることができた音楽ファイル数をも勘案して、請求額の概ね 10 分の 1 に相当する 3000 万円をもって使用料相当損害額と判断された。

一方、RIAJ の損害賠償額については、「1 ファイルあたりの月額使用料が少なくとも 2,000 円を下回ることはない」という原告の主張が認められ、それにファイルログでアップロードされていたファイル数を乗じた約 3,689 万円という額となった。

(12/17)

## アップル、iTunes Music Store のダウンロード数が 2,500 万を突破

米 Apple は、米国で 4 月 29 日より開始した音楽配信サービス「iTunes Music Store」の販売曲数が 2,500 万件を突破したと発表した。

2,500 万曲目は Frank Sinatra の「Let It Snow! Let It Snow! Let It Snow!」。

また、10 月 16 日より第 2 世代となる iTunes Music Store として機能追加された、親が子供の iTunes Music Store 口座に毎月資金を自動的に預金することができる「Allowance(アロウアンス)」機能と、E-mail で友達や家族に音楽を贈ることができるオンライン商品券の利用総額が 100 万ドルを超えたと発表した。

(12/16)

## Loudeye と Microsoft、音楽配信事業支援サービスで提携

米 Microsoft と米 Loudeye は、企業が自社ブランドで音楽ダウンロードサービスを簡単に始められるよう支援する事業に共同で参入すると発表した。

Loudeye は、Microsoft の Windows Media 9 シリーズプラットフォーム技術に基づいた音楽配信ソリューション「Loudeye Digital Music Store」を提供、新しく音楽ダウンロードサービスビジネスに参入しようとする企業の時間とコストを大幅に削減する。

さらに、100 チャンネルのプレミアムインターネットラジオサービスを可能にするための「Loudeye iRadio Service」も提供する。

「Loudeye Digital Music Store」では、Windows Media が対応している高品質のオーディオとビデオ、さらに Windows Media DRM を実装している 40 種類のポータブルデバイスをサポートする。

また、ブロードバンドユーザー向けの「Fast Streaming」機能もサポートしており、ストリーミング放送でのバッファリング時間をほとんどなくすることができる。

当初の顧客は AT&T Wireless、Gibson Guitars 傘下の Gibson Audio などとしている。

(12/16)

## 11 月末の DSL 加入者数は 1,000 万目前

総務省から 2003 年 11 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 9,911,306 で、これは前月末の 3.3% 増。増加率は前月から 0.6% のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 3,645,708。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 6,265,598。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 36.8% と前月から 0.2% のマイナス。

(12/12)

## 日立、4 ギガビット AG-AND 型フラッシュメモリ用メモリセル技術を開発

日立製作所とルネサス テクノロジは、0.016  $\mu\text{m}^2$  (1 ビット換算) の世界最小のメモリセル面積と、世界最速の書き込み速度 10M バイト/秒を実現した、4 ギガビットフラッシュメモリ用メモリセル基本技術を開発したと発表した。

この技術は、「多値かつ高速」を特徴とする AG-AND (Assist Gate-AND) 型フラッシュメモリセルのソース・ドレイン構造を改良したものであり、90nm プロセスを適用した場合、従来に比べメモリセル面積を約 30% に低減できる。

AG-AND 型フラッシュメモリは、セル間の干渉を防ぐアシストゲート (Assist Gate) と、多値技術の採用などにより、セル面積の小型化と 10M バイト/秒の高速書き込みを実現した第一世代が 2001 年に開発され、現在ルネサス テクノロジにおいて 130nm プロセスの 1G ビット AG-AND 型フラッシュメモリを量産中。

ルネサス テクノロジでは、今回発表の技術をコアとした 4G ビット AG-AND 型フラッシュメモリを 2004 年第 3 四半期に製品化予定と

している。

(12/11)

## 有線ブロード、取り付け数が 11 万件を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2003 年 11 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が 186,715 件、回線が開通している取り付け数が 111,760 件となった。

前月 2003 年 10 月末時点のもの比べると、契約者数で約 13,000 件、取り付け数で約 7,000 件となる増加となっている。

なお、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.19、集合住宅取付棟数は 24,692 となっている。

(12/10)

## Earthlink と MusicMatch、音楽配信サービスを開始

米 Earthlink と米 MusicMatch は、これまでの提携関係を拡大、1 曲 99 セントからのダウンロード型音楽配信サービスを新たに開始することを発表した。

Earthlink の ISP サービス加入者は、5 大メジャーレーベルと数百ものインディーズレーベルから、提供された 35 万曲以上の楽曲を 1 曲あたり 99 セントでダウンロードできるようになる。

この「Earthlink Digital Music」サービスには、MusicMatch のジュークボックスソフトをベースにしたソフトウェアが含まれており、これを利用して楽曲の管理が可能となるほか、無料のインターネットラジオを楽しむことができる。

ジュークボックスソフトは「Earthlink Jukebox Plus」に 19.99 ドルでアップグレードすることで、より高速な CD ライティング機能と MP3 エンコーディング機能が利用できるようになる。

MusicMatch は 2002 年 7 月に Earthlink と提携し、Earthlink の ISP サービス加入者に対して無料、有料のインターネットラジオサービスを提供していた。

(12/09)

## 米 PayPal が音楽配信用の超少額決済サービスを開始

米 PayPal は、デジタル音楽を少額で販売している音楽配信企業向けの超少額決済サービスを開始すると発表した。

PayPal の新しい決済サービスでは、音楽配信企業は決済額の 2.5% の手数料と 1 トランザクションあたり 0.09 ドルを支払う。

これまでの一般的な条件では、決済額の 2% に 1 トランザクションあたり 0.20 ドルから 0.30 ドルを支払うのが相場となっており、PayPal の新サービスを利用することで音楽配信企業は約 30% から 50% の決済コストを削減できる。

PayPal では、音楽配信企業は一般的に 1 曲あたり 0.65 ドルから 0.80 ドルをレコード会社にライセンス料として支払い、さらに顧客販売用の決済費用として 0.20 ドルから 0.30 ドルを支払っているとしている。

(12/09)

## So-net、オンラインジュークボックス「Wonder Juke」を本格提供

ソニーコミュニケーションネットワーク (サービス名称: So-net) は、ブロードバンドを利用して音楽を楽しむ新たなスタイルとして、オンラインジュークボックス「Wonder Juke」サービスを本格的に展開すると発表した。

まず、12 月 18 日よりメジャーアーティストのライブコンサートを含めた 1 万曲の提供を始めるほか、12 月 22 日より「Wonder Juke Classic」としてクラシック約 1,000 曲の提供を開始する。

Wonder Juke は、7 月よりベータ版の提供が行われていたオンラインジュークボック

スサービス。両サービスともに月額料金は So-net 接続会員が月額 480 円、月額料金の必要ない「こんでんつコース会員」は月額 880 円。

本サービスは、レーベルや音楽ジャンルからラジオ感覚でコンテンツを視聴できる「RADIO」、自分だけの音楽カタログを作ることができる「JUKE」、アーティスト情報やコラムが掲載されるオンラインマガジン「MAGAZINE」の 3 つのスタイルと CD 並みの高音質 (配信レート: 128kbps) が提供される。

配信が行なわれる楽曲はいずれも Windows Media Audio 形式で、利用時には Windows Media Player 7.1 以降、Macromedia Flash Player 6 以降が必要。対応 OS は Windows 98 以降となり、Macintosh には対応しない。

(12/08)

## イー・アクセス、TD-CDMA 実験局免許を申請

イー・アクセスは、自社の IP バックボーンを活用した高速ワイヤレスアクセスサービス検討の一環として、12 月 3 日、総務省に対し TD-CDMA 方式を用いた実験局の免許申請を行ったと発表した。免許の認可取得を条件に、2004 年 1 月中には実験を開始すべく準備を進める。

本実験には、TD-CDMA 方式の商用サービスで実績のある米国 IP Wireless 社の技術を採用。

TD-CDMA 技術は、IMT-2000 システムの無線方式の一つ。拡散符号により通信チャネル符号多重し、時間軸でスロットに分割してスロット毎に上り、下りを割り当てる方式であり、周波数利用効率が高いことや上り/下り速度が非対称な通信を効率的に実現できる利点がある。

イー・アクセスでは、本技術により、音声通信サービスを主目的とするのではなく、インターネット利用を想定した「どこでも使える ADSL」を実現すべく、ワイヤレスの高速データ通信にフォーカスした事業展開を検討していくとしている。

(12/04)



## 音楽配信 bitmusic、配信楽曲数を大幅増加

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SMEJ) は、運営する音楽配信事業 bitmusic (ビットミュージック) において、大幅な提供楽曲の増加を図り、年内 2 万曲を目指すと発表した。

まず 2003 年 12 月 3 日より洋楽アルバムの音楽配信をスタート、約 250 タイトルのアルバム収録曲を含め約 10,000 曲をラインナップ。

その他邦楽シングルのカップリング曲等単曲でのラインナップを増加するとともに、同月 24 日より邦楽アルバムの音楽配信もスタートし、約 500 タイトルのアルバム収録曲を含め約 10,000 曲をラインナップする予定。

販売価格も邦楽の旧譜と洋楽を一律 1 曲 150 円に値下げし、邦楽の新譜のみを従来のまま 1 曲 200 円とする。アルバム販売は、洋楽が 1 アルバム 1,100 - 1,600 円、邦楽が 1,000 - 1,400 円。収録曲を 1 曲ずつ購入することも可能だが、アルバムで一括購入するほうが割安になる。

bitmusic は、1999 年 12 月 21 日に国内レコード会社として初の音楽配信事業としてスタート。シングルのタイトル曲を中心に、主にパソコンを対象として展開し、現在提供楽曲数約 3,500 曲、月間の平均ダウンロード数約 60,000 件と成長を続けている。一歩。

(12/01)

## 総務省、10 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2003 年 10 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 237.4 万人、DSL が 9,590,349 人、FTTH が 756,211 人。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は 1,935 万人。

(11/28)

## ルネサステクノロジ、デュアルボルテージ対応 MMC を製品化

ルネサステクノロジは、マルチメディアカード (MMC) および約半分のサイズのリデュースサイズ マルチメディアカード (RS-MMC) の低電圧対応版として、1.8V と 3V どちらの電圧でも動作可能なデュアルボルテージ対応品を製品化したと発表した。

第一弾として、32/64/128M バイトの「デュアルボルテージ対応 MMC」、および「リデュースサイズ デュアルボルテージ対応 MMC (RS-DV-MMC)」が製品化される。

サンプル出荷時期は 32M バイト品が 2004 年 3 月、64/128M バイト品が 2004 年 5 月。

これらはデジタル民生機器向けに、既存の 3V 動作品との互換性を維持しつつ 1.8V の低電圧化に対応したもので、1.8V システムでの低消費電力化、小型化を図ることができる。

特に 24.0mm x 18.0mm x 1.4mm と小型サイズの RS-DV-MMC では、今回のデュアルボルテージ対応により、携帯電話などの小型モバイル機器により最適なリムーバブルカードとなっているとしている。

なお、両カードとも MMC の標準化団体 MultiMediaCard Association (MMCA) が 2003 年 3 月にデュアルボルテージ対応等について規格化した「System Specification Version3.3」に準拠しており、従来の規格に対して上位互換となっている。

また、3V 動作品でも大容量化を図り、256/512M バイト MMC を製品化した。現在 1G バイト品を開発中であり、将来に向けて 4G バイト品の開発を進めているとしている。

256M バイト品のサンプル出荷は 2004 年 3 月より、512M バイト品は同年 6 月から開始される。

(11/27)

## デジキューブが破産申し立て

デジキューブは、2003 年 11 月 26 日に東京地裁へ自己破産を申請した。

同社は、1996 年 2 月にコンビニエンスストア向けのゲームソフト卸売を目的に、スクウェア (現スクウェア・エニックス) の 100% 出資で設立。

1998 年 7 月には JASDAQ 市場に上場 (現在は大証ヘラクレスに上場中) ゲームソフトのコンビニ向け卸のほか、キオスク端末を活用した音楽配信事業などを展開していた。

しかし、2002 年 3 月期は、コンビニエンスストア等に設置した情報端末を通じて各種コンテンツを配信する「キオスク端末事業」から撤退したことなどで約 60 億円の事業損失を計上。

さらにゲーム市場の販売縮小傾向が続いたことで業績悪化に歯止めがかからず、2004 年同期も約 27 億円規模の最終赤字が見込まれ、債務超過に陥る可能性があり、これ以上の事業継続は困難と判断した。

負債は約 95 億円。

(11/26)

## FMD、超小型無線 LAN モジュール、SDIO カードを開発

富士通メディアデバイス (FMD) は、無線 LAN 規格 IEEE 802.11b に対応した、超小型無線 LAN モジュール「MBH7WL07」および、SDIO カード「MBH2WL07」を開発したと発表した。

「MBH7WL07」は、RF、Baseband、MAC (Media Access Controller) までを内蔵した無線 LAN モジュールとしては世界最小サイズとなる 12 x 14 x 1.85mm を実現、従来、無線 LAN 機能の実装が困難であった小型電子機器に対して、無線 LAN 機能の実装を可能にする。

また、「MBH2WL07」は、無線 LAN SDIO カードとしては世界最小サイズである 24 x 40 x 2.1mm を実現。SDIO 対応スロットを装備した PDA 等へ無線 LAN 機能を追加するために最適なソリューションとなっている。

どちらの製品も IEEE パワーセーブモード時の消費電力を約 1mW まで低減し、従来の無線 LAN 製品よりもバッテリー駆動システ

ムの動作寿命を向上させることが可能となっている。

さらに、無線 LAN のセキュリティとして WPA (Wi-Fi Protected Access) をサポートしており、TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) や AES (Advanced Encryption Standard) に対応した高度なセキュリティを実現する。

スマートフォン、デジタルカメラ、PDA 等の小型電子機器への内蔵に最適としており、FMD では装置メーカーへの OEM を予定しているとしている。

(11/25)

## CE Linux Forum、家電機器向け Linux の試験用ソースコードを公開

デジタル家電機器向け Linux を開発する団体 Consumer Electronics Linux Forum は、デジタル家電向け Linux 「CE Linux」の試験版 (baseline) ソースコードを公開した。

CE Linux 試験版は、起動・終了時間の高速化やリアルタイム性の改善、少ないメモリー容量に適した OS サイズ、電源管理機能など、デジタル家電や携帯電話に適した機能向上を施している。

ソースコードは、GPL に基づき誰でも Web サイトからダウンロードでき、フィードバックを求めている。

Consumer Electronics Linux Forum は、日立製作所、松下電器産業、NEC、蘭 Royal Philips Electronics、サムスン電子、シャープ、ソニー、東芝が 2003 年 6 月 24 日に設立した団体。Linux プラットフォームを家電機器用に強化することが目的。設立以来すでに 22 社が新たに参加している。

(11/25)

EMD Magazine 第 34 号

発行 2004 年 2 月 17 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース